

一般質問



山岡 議員

○旧松浦市総合衛生センターごみ処理施設問題について

質 東京の大手企業が、旧松浦市総合衛生センターごみ処理施設を活用して「焼却発電をおこしたい」と施設の再利用を提案されたのに、なぜ提案説明を受けなかったのか。

市長 庁内協議の結果、当該用地は、現在の北松北部クリーンセンターが稼働を終了した後の新たな処理施設の建設用地を検討する際に候補地の一つとなり得るため、市が保有しておくべきとの結論となりました。

質 市議会や今福地区の地元にも何も相談なく、企業に断ったのは議会や地元今福地区の皆さまに対しても軽視されていると思いますが、どのような経過でこの大事な問題を決定されたのか。

市長 活用をどうするかという検討であれば、地域の皆さまや議会にも相談することはあったと思うが、庁内で協議した結果、北松北部クリーンセンター稼働終了後の建設候補地として市が保有しておくべきとの判断から、新たな活用はしないと決定しました。

○本市の水産振興のあり方について

質 西日本魚市に必要なのは加工団地ですが、この加工団地に必要な地元漁協または、漁民に対しての同意が取れていない。市長は加工団地をやる意思があるのかお尋ねします。

市長 松浦市の将来を見据えた上で、この事業に何とか取り組みたいという思いを持っています。今後、県と一緒に、関係者の皆さまと協議を続け、ご理解をいただけるように努めていきます。

質 新たに加工団地が実現できたらどのくらいの雇用が創出できると思っていますか。

水産課長 現在の水産加工団地に出している企業の雇用人数を立地面積で割り、新たな加工団地の分譲面積を8万平方メートルと想定して、雇用人数は525名と見込んでいます。

質 磯焼けで漁民にとっては死活問題になっているが水産課の対策はどうなっているのですか。

水産課長 ウニ類の駆除、海藻の種糸設置等を県とともに支援している。市においては、福島地先の2カ所に自然石を設置し、築磯漁場を造成しています。また県営事業ですが、鷹島や福島の地先に自然石と藻場ブロックで構成される増殖礁が整備される予定です。

一般質問



大橋 議員

○一般会計予算と福島診療所特別会計予算の関係性について

質 当初予算と決算で3300万円の歳入見込み違いが出てしまっている結果を受けて財政担当課としてどのようにお感じになられているかお聞かせください。

総務課長 予算額と決算額の大きな乖離があるということについてですが、これは予算査定タイミングに起因するもので、当年度の予算要求期限を前年の11月末から12月頃としています。従いましてその時点での診療収入等の実績や患者数を確認して、要求額の妥当性といったところを判断しています。過大な要求があればつぶさに確認をし、過小であれば指摘をして、予算要求課と総務課で協議しながら予算計上を行っているところですが、その時点での見込みと結果にずれが生じたということ、金額は大きいという意識はありますが、理由等を確認すればやむを得なかった面もあると判断しています。

○協働によるまちづくりの今後の展望について

質 新たに運営協議会を立ち上げて運営していくとなると新たに予算が必要になるかと思われませんが、その予算をどう考えているのか、またその財源をどうするのか、お考えをお聞かせください。

政策企画課長 先進自治体の事例なども参考にしながら、既に地域が主体となった活動に使用している財源の整理も含めて、令和6年度当初予算における交付金制度創設に向けて検討をこれから進めていきたいと考えています。

質 各町毎の人材に集落支援員を委嘱してまちづくり運営協議会立ち上げをどんどん推進していくべきと考えますが、お考えをお聞かせください。

政策企画課長 現在、市としては、市が委嘱した集落支援員を中心とした取り組みではなく、地域住民の皆さまが地域の課題に対して自主的に考えて主体的に動いて、担い手の確保も含めて地域の活動が持続的に継続できるような体制、それを最優先にして推進していきたいと思っています。いずれにしても、集落支援員の委嘱については、モデル地域の取り組み、準備会の立ち上げの状況を踏まえて検討したいと思っている状況です。